

Contents

- 同窓会会長挨拶 秋元 俊通P1
- 新理事長挨拶 樋野 隆一氏P2
- 学長挨拶 渡邊 浩文氏P3
- 逝去 岩崎 俊一 名誉理事長・名誉学長P4
- 東北工業大学同窓会 40 周年記念座談会P5
- 支部活動等報告
 - 青森支部／山形支部P9
 - 関東圏支部／職域支部「高原会」.....P10
 - 福島県支部P11
 - 工大杜の会（土木系学科同窓会）.....P12
 - 尚建会（建築学科同窓会）.....P13
- 第48回千葉工業大学硬式野球部定期戦P13
- 第40回北海道科学大学・東北工業大学総合定期戦P14
- 特集 ありがとう！「5号館」.....P15
- データで見る東北工業大学P16
- インフォメーション
 - 第 50 回工大祭「五十彩」.....P17
 - サテライトキャンパス「テクロビ」.....P17
- 同窓会からのお知らせP18

工

Kodai

大

jin:

人



長町キャンパス 2 号館屋上テラス
愛称：「そらいろテラス」

※この愛称は、学生の公募により産業デザイン学科 1 年生の
提案が選ばれました。
ロゴのデザインも、産業デザイン学科 3 年生の作品です。

「工大人創立40周年記念号」 発刊に当たって



東北工業大学同窓会 会長
秋元 俊通（あきもと としみち）
1975年 土木工学科卒業（5回生・菊地研究室）
現 在 株式会社 秋元技術コンサルタンツ
代表取締役
土地家屋調査士 秋元俊通事務所 所長
東北工業大学理事

今年の梅雨から夏にかけては異常気象で、高温の日が続いたり、更に各地で豪雨や台風があったりと大変な時期でしたが、皆様には益々のご健勝、ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より当同窓会へお寄せいただいておりますご理解とご協力とに心より感謝申し上げます。

さて、今年度は当会創立40周年に当たります。会員数も学生会員を含めて45万人となろうとしております。地域支部も北海道、青森、岩手県北上、山形、新潟、関東圏の6支部に加え、本年12月には福島県支部が発会する運びとなっております。本「工大人」の読者の皆様でその地域にお住まいの方は、是非該当される支部に所属され、ネットワークを拡大されますようお願い申し上げます。

本「工大人」も「創立40周年記念号」として発刊いたしておりますし、本文でご紹介いたしておりますが、10月11日（土）の「工大祭」の開催に合わせて「40周年記念総会」を開催いたします。その席上で、当大学初の三世代入学者のご紹介と表彰をいたしたいと思っております。皆様の奮ってのご参



支部同窓会役員との情報交換会



支部同窓会役員との情報交換

加をお願い申し上げます。

一昨年より、支部会と協力して、学生会員の郷里での就職先等の選択に資する目的で、東北工業大学後援会の各支部との連携により、当会会員が勤務または経営する地元の企業をお招きしてのご父母の皆様への企業紹介を開催いたしております。また、当会会員が転職する場合にも役立つ企業情報を、当会ホームページでご紹介いたしておりますのでそちらもご活用ください。

これからも、その時々ニーズに合わせた活動を企画、実践してまいり、更なる「ネットワーク」の拡大を図ってまいり所存でおります。皆様の更なるご協力をお願い申し上げます。

末文になりますが、東北工業大学の益々のご発展と会員皆様の更なるご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます、「工大人創立40周年記念号」発刊に当たってのご挨拶とさせていただきます。



東北工業大学産学連携交流会



産学連携交流会閉会挨拶

新任の挨拶と近況報告



学校法人東北工業大学 理事長
樋野 隆一（ひの りゅういち）氏
昭和52年3月 一橋大学 社会学部 卒業
平成17年3月 株式会社七十七銀行
長町支店 支店長
平成19年4月 学校法人東北工業大学
法人本部事務局 企画調査課長
平成26年4月 同 法人本部事務局 評議員
令和7年6月 学校法人東北工業大学 理事長

同窓生の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より東北工業大学を温かくご支援いただきまして、誠にありがとうございます。

令和7年6月13日に開催されました理事会におきまして、樋口前理事長の後任として理事長職を拝命いたしました樋野でございます。私学を取り巻く厳しい環境のもとで、理事長職の重責に身の引き締まる思いですが、学園の発展を目指し、微力ではありますが全力を尽くす所存でございますので、同窓会、そして同窓生の皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年で東北工業大学同窓会が創立40周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。また、昨年3月末をもって終了しました「TOHTECH2023募金」には同窓会をはじめ多数の同窓生の皆様からご寄附を頂戴し、お蔭をもちまして目標2億円に対し176百万円の成果を上げ、ほぼ所期の目標を達成することができました。お寄せいただいた寄付金は、現在進行中の八木山キャンパス整備資金に充当させていただきます。令和7年度秋には5号館解体工事を終え、今年度中には新棟2期の建設に着工し令和9年12月頃の竣工を目指しています。新棟2期の建物は食堂、図書館、教室、教員室、研究室、設計製図室等の機能を有しており、八木山キャンパスの教育環境がより充実したものになることを期待しています。

東北工業大学は令和6年4月に大学創立60周年を迎えましたが、開学以来40千名の卒業生を輩出し、東北の産業の発展に大きく貢献してきました。人間に喩えるならば、昨年還暦を迎え、今年は樋口前理事長が仰っていたように「工大元年」であり、これから更に新たな工大の歴史を作っていくスタートの年になります。4月には工学部4学科を4課程、ライフデザイン学部経営コミュニケーション学科を経営デザイン学科に名称変更し、3学部4課程4学科を擁する大学となりました。令和7年5月1日現在の学部在籍者数は3,261人、収容定員充足率107.3%と、令和6年度には私立大学の約6割が定員割れしている中で、本学は皆様のご支援により健闘しているところです。大学のキャンパスに学生の活気が溢

れていることは、大変喜ばしいことだと感じています。

既にご存知の方もいらっしゃると思いますが、6月の日経新聞の「企業に聞く卒業生活躍ランキング」で、本学が北海道・東北地区の私立大学で最上位にランキングされただけでなく、「採用を増やしたいランキング」では全国の大学ランキングでも上位にランクされました。最近では就職内定率が高いことは必ずしも大学のアピールになりませんが、このアンケートは上場会社等の大手5千数百社の評価ですから価値があるものと言えます。大学を評価する基準の一つは卒業生の社会での活躍の状況だと思います。このアンケート結果は本学の卒業生が企業から評価されている証しであり、素直に喜びたいと思います。

昨年の記念すべき大学創立60周年の年に、第4期目となる中期計画「TOHTECH2028」をスタートしました。「東北地方に位置する最も魅力ある工科系私立大学」というビジョンを実現するために、計画に掲げた重点施策を着実に実行し、これまで以上に魅力的な工科系私立大学へと一層飛躍することを目指しています。その重点施策の一つとして同窓会・後援会のニーズ把握と連携強化を掲げ、オープンキャンパス、大学祭、ホームカミングデーなど同窓生との交流促進や様々な分野での連携を強化することとしております。同窓生の皆様には母校愛を持って大学を応援していただけることに感謝するとともに、大学が卒業生に対してどのようなサービスや情報提供ができていたかが問われていると思います。同窓会との絆を更に強くしてまいりますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



八木山キャンパス新棟2期計画

同窓会 40 周年 おめでとうございます



東北工業大学 学長
渡邊 浩文 (わたなべ ひろのり) 氏
1993年 3 月 早稲田大学大学院 博士課程 修了
1998年10月 東北工業大学工学部 建築学科 講師
2008年 4 月 東北工業大学工学部 建築学科 教授
2014年 4 月 東北工業大学工学部 工学部長
2016年 4 月 東北工業大学 副学長
2021年 4 月 東北工業大学 学長

このたび、東北工業大学同窓会が創立 40 周年という大きな節目を迎えられましたこと、お祝い申し上げます。同窓会は、卒業生同士の絆を深めるとともに、母校と卒業生、さらには地域や社会をつなぐ架け橋として、長年にわたり大きな役割を果たしてこられました。この間、同窓会の皆様が積み重ねてこられたご尽力と熱意に、大学を代表して心より敬意と感謝を申し上げます。令和 7 年春の叙勲にて、貴会特別顧問・本学名誉学長の今野弘氏が瑞宝中綬章の荣誉に浴されました。誠にめでたく、ご同慶の至りです。

40 年という年月には、数えきれないほどの思い出と歩みが刻まれています。同窓会の設立以来、卒業生の皆様は各界各層でご活躍され、本学の名を高めてくださいました。そして、同窓会活動を通じて、母校、ことに後輩たちへの支援を絶え間なく届けてくださいました。そのご厚意と行動力は、私たち教職員にとって大きな励みであり、在学生にとっても目指すべき「先輩の姿」として、かけがえのない存在であります。

近年、社会はかつてない速さで変化しています。技術革新、気候変動、そして少子高齢化など、大学を取り巻く環境も大きく様変わりしています。そうした中、本学は「未来のエスキースを描く。」をブランドスローガンとし、大学として教育・研究の質を高めると同時に、地域・産業界との連携を一層強化し、社会の課題解決に寄与することを重要な使命として掲げています。今年度は、新しいサテライトキャンパス「テクロビ」を開設し、大学と社会がこれまで以上に密接に結びつく契機と致したく、取り組み始めたところです。

また今年度から、工学部は学科を廃して課程制に移行するとともに、他課程（他分野）の科目を体系的に履修することを可能とする分野横断プログラムを、ライフデザイン学部では経営デザイン学科に名称変更するとともに副専攻プログラムを導入いたしました。いずれも IoT、ICT があまねく普及する Society5.0 における学びの可能性を拓けるものです。

次年度には大学院工学研究科の改組再編を予定しています。併せて大学院において情報系共通科目を整え AI・データサイエンスに関わる知識技能の一

層の底上げを図ります。ここには、情報系インターンシップ科目（企業での 2 週間の実践的学修）も含まれます。大学院生は年々増加している傾向にありますので、この情報系インターンシップ受入企業様を増やしたいと考えているところです。

本学の持続的発展のためには、卒業生の皆様と大学との「連携・協働」が欠かせません。在学生へのキャリア支援、実践的な学びの場としてのインターンシップや講演活動、あるいは研究活動への支援など、皆様のご経験が次代の人材育成に直結する機会がますます増えています。そして在学生たちの積極さも涵養されつつあり、今年度第 50 回を迎える工大祭において、実行委員会から同窓生対象のホームカミングデー開催の要望を頂戴しております。いくつもの新たな催事を企画しているようですので、是非、大学に足をお運びいただきたいと存じます。

このように 40 周年という節目は、単なる通過点ではなく、これからの未来への「新たな出発点」であります。同窓会と母校がこれからも互いに手を携え、次の 50 周年、さらには 100 周年へと向かって、より強固な絆を築いていくことを心から願っております。どうか皆様におかれましては、これまで以上に母校の近況に関心をお寄せいただき、引き続き温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。そして、皆様お一人おひとりのご活躍とご健康、そして東北工業大学同窓会のますますのご発展を心より祈念し、私からのご挨拶といたします。



今野弘名誉学長 令和 7 年春の叙勲「瑞宝中綬章」伝達式

岩崎 俊一 東北工業大学名誉理事長・名誉学長が 2025 年 7 月 25 日に逝去されました。



岩崎名誉理事長は、東北大学を退官後、1989 年 4 月東北工業大学学長に着任され、その後、2004 年 9 月理事長、2016 年 4 月から名誉理事長に就任されました。その間、大学院の開設や学部・学科の改組等、先導して東北工業大学の様々な改革を進められました。

また、研究面では、岩崎名誉理事長が 1977 年に発明された「垂直磁気記録」の実用化により、大容量の磁気ハードディスク装置（HDD）が世界的に普及し、工業とデジタル社会の発展に大きく貢献しました。

岩崎名誉理事長は、今日の東北工業大学の礎を築き、また、社会への多大なる功績を残されました。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

<略歴>

岩崎 俊一

1926 年 8 月 3 日 生まれ

1949 年 3 月	東北大学 工学部 通信工学科 卒業
1949 年 4 月	東京通信工業株式会社（現ソニー株式会社）
1951 年 11 月	東北大学電気通信研究所 助手
1958 年 4 月	東北大学電気通信研究所 助教授
1964 年 6 月	東北大学電気通信研究所 教授
1986 年 4 月	東北大学電気通信研究所 所長
1986 年 4 月	東北大学 評議員
1989 年 4 月	東北大学 名誉教授
1989 年 4 月	東北工業大学 学長（2008 年 3 月迄）
1989 年 4 月	学校法人東北工業大学 理事（2016 年 3 月迄）
2003 年 12 月	日本学士院会員
2004 年 9 月	学校法人東北工業大学 理事長（2016 年 3 月迄）
2008 年 4 月	東北工業大学 名誉学長
2016 年 4 月	学校法人東北工業大学 名誉理事長
2022 年 11 月	東北大学特別荣誉教授

<主な受賞歴>

1987 年	日本学士院賞
1987 年	文化功労者顕彰
1988 年	科学技術功労者（科学技術庁長官賞）
2003 年	瑞宝重光章
2010 年	日本国際賞
2013 年	文化勲章
2014 年	ベンジャミン・フランクリン・メダル
2014 年	仙台市名誉市民
2023 年	IEEE マイルストーン受賞「垂直磁気記録（東北大学）」



文化勲章親授式

東北工業大学同窓会40周年記念座談会 「これからの同窓会活動に向けて」



日時：令和7年7月29日（火）
於：八木山キャンパス1号館4階第2会議室

根田さん：東北工業大学同窓会40周年記念座談会にお越しいただきありがとうございます。本日の座談会のテーマは、「これからの同窓会活動に向けて」です。皆様方からいろいろなお話をいただければ幸いです。

印象深い同窓会・共催事業

根田さん：それでは同窓会や大学等との共催事業で印象深い活動がありましたらお聞かせください。また、大学や後援会などとの共催事業で、今後このようなことができないかなどアイデアがありましたらお聞かせください。



工大人編集員
根田 愛子
東北工業大学職員

野津さん：パツと思ひ浮かぶのは、100円カレーですね、または同窓会と大学と一緒にやっている円卓会議は、地域に出て行っているのは結構いい活動かなと思っております。
横塚さん：ここ3年ぐらいちょっと授業に関わせてもらっていたことがあって、その時

座談会メンバー

野津 弘さん 同窓会理事
(株野津デザイン計画工房代表 <工学部建築学科卒>)
横塚 明日美さん 卒業生
(東北芸術工科大学グラフィックデザイン学科専任講師
<ライフデザイン学部クリエイティブデザイン学科卒>)
篠原 良太さん 同窓会理事
(ライフデザイン学部産業デザイン学科教授
<工学部工業意匠学科卒>)
菅原 景一さん 同窓会運営委員
(工学部都市工学課程准教授
<大学院工学研究科土木工学専攻博士(後期)課程修了>)
高橋 正行さん 同窓会理事
(法人本部事務局長<工学部土木工学科卒>)
川村 弘昭さん
(大学事務局長)
進行
工大人編集員 根田 愛子
(東北工業大学職員<工学部建設システム工学科卒>)
サポート 佐藤 明 同窓会副会長
(東北工業大学地域連携センターコーディネーター<工学部工業意匠学科卒>)

に100円カレーのポスターを拝見して、自分が学生のころにも欲しかったなって、すごく思いましたね。
篠原さん：先日の5号館クローズのイベントも、大学が主催だったにせよ、OB・OGの人がいっぱい集まって、すごくいい会だったなと思っています。
菅原さん：私も最初に思いついたのは円卓会議だったんですよ。地方に出て行って学校を紹介することは大切だなと思いました。

川村さん：私もそうですね、先ほど篠原先生もおっしゃってましたが、去年実施した「さよなら5号館」「ありがとう5号館」というイベントを、ホームカミングデーという形で実施したので、たくさん同窓生の方々に来ていただいたんですね。あれはもういいイベントだったなと思いました。それと今年、大学祭が50周年の大学祭になるので、その5号館の取り壊したところで花火をあげようとか、今の学生たちがいろいろ考えてくれているので、是非同窓生の方々にきれいな花火を見ていただき、大学時代に戻っていただければなと思っています。

根田さん：では、次はこれからに向けてアイデアがありましたらお願いします。

高橋さん：年齢を重ねるにつれてお世話になった恩師は少なくなり、それとともに、学校に足を運ぶことも減っちゃいますよね。私の世代では恩師はもう大学にはいらっしゃいませんので、何らかの機会が

ないと、母校を訪問したくなるようなことはないと思います。まあそんなことから、全学同窓会と大学とで、卒業生が訪問したくなるような機会を作るといいのかな。

野津さん：今、高橋さんが言われましたけど、本当に恩師がいなくなると自分のベースがなくなっちゃうっていう、そういうものがあるかなとは確かに思うんですね。そうすると、やっぱりすごく大事なのは、もともとあったいろんな研究室って、誰かがやっぱり継承してその研究をやっているわけですから、その継承した研究室の先生が、前のことも受け継ぐよみたいな、そういう意識があるとだいぶ違うかな。何かそういう流れが確立できればよいなあと思います。

横塚さん：そうですね。やっぱり大学に行ける機会があるといいだろうなって私は授業でちょっと関わらせてもらっているんで、そのこととかをSNSとかに投稿すると、同級生とか先輩とか、私も行きたかった。とのコメントが寄せられます。やっぱりなかなか行きづらいというか、学祭とかホームカミ



横塚明日美さん
東北芸術工科大学グラフィックデザイン学科専任講師

ングデーみたいなイベントに行くしかチャンスはないですね。
芸工大で何周年かちょっと忘れちゃったんですけど、周年で、記念のリーフレットが発刊されていて、それにはこれまで卒業した方のインタビューが今している活動も含め取り上げられていたり、表紙とかデザインとかも全部その卒業生が担当しているようなものが発行されてたりするので、卒業生にとっては記念になる読み物にもなるし、あとはやっぱり各地で同窓会をやったりっていうのはありましたね。

篠原さん：僕は学生時代に八木山で学び、現在の勤務は長町キャンパスなのですが、キャンパスごとの温度差を感じます。長町キャンパスにあんまり目が向いてないのではないかなというか、もう少し長町の方でホームカミングや卒業生も含めて集まれる長町イベントみたいなものができるといいかなって、日頃感じています。

佐藤さん：そう言えば長町キャンパスに魅力がある天望テラスをネーミングしましたよね。

篠原さん：「そらいるテラス」ですね。今回工大人の表紙に使われています。

最近そういう意味だと、在学生の皆さんが積極的



に大学に関わりたいたいという人が多くて、「大学愛」がある人が増えて来ているような気がします。オープンキャンパスにも自分たちでブースを勝手に作って、デザインを教えたりといろいろとしていて。そういう流れをうまく卒業してからも繋げていくっていうか、この場所で勉強をしたことがある種誇りとまではいかないまでも、ここでやっていたことを忘れないようにしてもらいたいかな、なんて常に思って接しています。

川村さん：大学に来れるような機会があるというのは、すごくいいかなと思います。本学の卒業生も4万人を超えて、日本全国各地に散らばっているというか、そういうこんなところで頑張っているんで、そこでちょくちょく仙台には来れないこともあるかもしれませんが、やはり大学祭とかそういった催し物がある時にでもですね、来ていただければ、すでに恩師の先生がいない場合でも、大学はここに存在しているので、大学を見ていただいてですね。大学



篠原 良太さん
ライフデザイン学部産業デザイン学科教授

に行ったときに、学生時代こんなんだったなっていうのを思い出せる場所としてでもですね、学校に来ていただけるような、そういった学生たちとのつながりがもっと持てるよ、同窓会活動っていうのも盛んになればいいなっていうのが実感ですね。

同窓会に期待したいこと

佐藤さん：次は同窓会活動にご提言をいただこうと思っていますが、特に大学サイドから今日は両局長がいらしているのでお話いただければ。

川村さん：結局続きになっちゃうんですけど、やはり卒業して全国で活躍している卒業生の方々とのつ

ながりをもてるようなイベントを大学と一緒に考え
実行していければより東北工業大学というブランド
も高くなると思います。

高橋さん：大学は、いろいろな形で卒業生の皆さま
から支援をしていただいております。例えば、外部
評価委員として大学の教育研究に係わるところのご
意見・ご指摘や、実務家教員として授業への登壇、



高橋 正行さん
法人本部事務局長・同窓会理事

もちろん各種寄付金も
そうです。数多くの
支援を頂戴しており
ます。深く感謝申し上
げます。ただ、大学が卒業生に対し何か・・・
というところは遅れてい
ます。関係者の皆さま
と意見交換し、進めて
いかなければならな
いと考えているところ
です。

佐藤さん：同窓会に要
望があるのは、就職に
向けて学生に企業さんからいろいろな話しをしてほ
しいなっているのはよくあるんですけれども、同窓
会と学生の接点ってなかなかあるようであんまりな
いと思いますがその辺はどうですか。

同窓会への提言

菅原さん：今は求人募集が多いので、キャリアサポ
ート課でやっている合同企業研究セミナーでは全然枠
が足りなくて、学科独自にも開催しているのですが、
それでも足りないんですよね。正直言うと。現在は
学生が欲しいという企業さんが多く OB も直々にい
らっしゃるんですけど、なかなかそのいらっしゃる
企業さんを全部紹介することは難しい状況です。出
来たら、もう少し枠が広くてもいいのかなと。そこ
は同窓会も絡んで何かやり方を工夫する必要がある
のかなと思っていますけど。

野津さん：今は求人が結構多いので学生がどこでも
選べる状態じゃないですか。でも、これっていつ
まで続くかわかんないってところがあるので、
やっぱりそこは考えていかなければいけないなっ
ていう気はしますよね。

川村さん：現状はそうですね、いろんな機会を設け
て、学生にいろんな企業を紹介するっていうのは必要
だと思っています。それは今やってるやり方がベ
ストだとは思わないので、いろいろと改善できると
ころは改善しなければと思います。

野津さん：私はずっと同窓会の活動をやって思っ
たのは、在学生に対し同窓会って何をしているのか、

ちゃんと伝わってないっていうか、同窓会ってある
んだぐらいしかわかってない。そこはちょっと改善
していかなくちやいけないことだなんていうふう
に思っています。

私はたまたま建築学科の同窓会に携わっているの
で、建築学科の同窓生がお手伝いしている「建築プ
ロフェッショナル論」という、卒業生から講義をし
てもらう授業があります。講義の後に興味のある学
生が講師の卒業生と懇談する機会をつくってます。
あとは「建築を学び始めるあなたに贈る一冊の本プ
ロジェクト」を行っています。内容は卒業生
が、1年生に建築の本
を贈るというプロジェ
クトです。同窓会の会
費を払っているんだ
よ。同窓会員なんだよ。
ということを意識して
もらうようなことにつ
ながると思うのです。

高橋さん：非常勤講師
やゲストスピーカーと
して後輩に講義すると
ともに接することは、
在学生にいろんな意味で刺激を与えるということ
で、大切ではないかと思っています。

野津さん：建築学科では登壇いただいた同窓生と教
員と同窓会役員が懇親会を開催しており好評です。

まとめると、学科ごとの卒業生とつながりある
授業もそうだし、いろんなイベントをやったり作っ
ていって、どんどんつなげていくってことを
やっぱりやっていく。なおかつ、同窓会ってこんな
ことやってるよ、こういうふうに利点があるよ、卒業生とつながるといいことがあるよ。みたいなこと
がやっぱりアピールできればいい。そこをどうやっ
ていっていかってことを考えていく必要があります
ね。

菅原さん：そうですね。
最近の学生はやっ
ぱ面白そうだなって思
わないと出てこないで
すよね、

横塚さん：学生に向け
ての発行物が、もう
ちょっとあってもいい
のかなっていう気はし
ます。お話にも出てた
通り、「ネットで見て
ね。」だと見ないので、
渡すときにあなたたち



野津 弘さん
（株）野津デザイン計画工房代表



菅原 景一さん
工学部都市工学課程准教授

に向けて発信してますよっていうのがわかるような
学生向けの何か紙物があってもいいのかなっていう
のは思いました。もし興味がある学生がいるんだっ
たら、学生編集部みたいなのを作って、学生目線で
発信してもらうみたいなのもいいかもしれないです
けどね。さっき篠原先生も大学のことをやりたい学
生がいるっていう話だったので、募集したらもしか
したらできるんじゃないですか。

川村さん：これまで通り本学の教育運営にご協力い
ただきたいというのがまず一つと、あと大学は今す
ごく変化が求められている時代で、大学は必要な
ものだけだと、どういうふうに変えていけばいいの
かわからないとか、今やっていることが正しいと思っ
ているけど、外から見



川村 弘昭さん
大学事務局長

ると、いやそれ違うん
じゃないのという部分
はたくさんあるかと思
うので、そういったも
のには率直に色々な意
見をいただければ、変
えられるところは変え
ていきたいと思ってい
ますので、これからも
ご意見を同窓会の方
々からいただければ
ありがたいと思いま
す。



青森県で開催した円卓会議

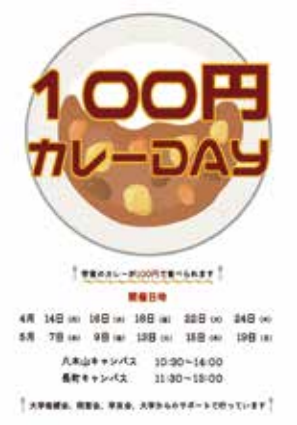


列が出来るほどの人気ぶり

根田さん：ありがとうございます。いろいろとご
貴重なお話をいただき
ありがとうございます。
これをもちまして、
本日の座談会は終了と
させていただきます。
本日はお忙しい中、ご
参加いただきありが
うございました。



サポート
佐藤 明



当時のポスター



大盛カレーライス

支部活動等報告

青森支部

令和7年度活動報告

同窓会青森県支部事務局

工藤 孝喜 (くどう こうき)

1986年 土木工学科(伊藤孝雄研究室)
現在 有限会社東豊設計

東北工業大学同窓会の皆様方及び関係各位の皆様方においては、お元氣でご活躍の事とお慶び申し上げます。

本州最北の青森でも7月に入ってから暑い日が続き7月16日には36℃の猛暑日もありました、また全国での熊の被害と同様に、りんご畑で熊に襲われるといったニュースも聞こえる いつもとは違う夏を迎えております。

さて今年の青森は、昨年暮れ28日からの災害級の大雪になりまして 正月以降の1月4日頃まで幹線道路以外は除雪が入らず(1月5日に今季一番の積雪深139cmを観測)道路事情が非常に悪く、市民生活のパニックで始まりました。

同窓会青森支部では幹事の皆様方の都合がなかなか合わず、桜まつり、ゴールデンウィークが終わった5月16日金曜日に半年ぶりの幹事会を開催いたしました。8名の参加となりまして、7月5日「支部同窓会役員等と同窓会本部役員等との情報交換」、10月11日「同窓会総会・懇親会」の両日仙台での開催予定を共有す

山形支部

同窓会・後援会連携企画 「山形県内企業紹介」を開催しました

同窓会山形県支部支部長

松田 隆志 (まつだ たかし)

1977年 土木工学科卒業(7回生・高橋(達)研究室)
現在 升川建設株式会社 庄内営業所所長

東北工業大学同窓会、在学生の皆様暑い中お元氣でお過ごしでしょうか。

当山形県支部では、前から同窓会本部様にお願いしておりました、同窓会・後援会連携企画「山形県内企業紹介」を6月7日(土)に開催しました。

当日は山形市内の山交ビル7階で後援会山形県支部総会と父母懇談会が開催されました。

同窓会山形県支部は開催前のお昼時間をお借りしまして、後援会と同窓会が推薦しました、同窓会員が所属する山型県内企業5社の企業紹介をさせていただきました。

紹介企業は最初に私が所属している升川建設 株式会社について支部長挨拶の中で紹介させていただき、2番目の会社からは各社パワーポイントを使用しまして、

ることが出来ました。その後は幹事各自の近況報告を経まして懇談となり和やかなうちで幹事会を無事終了しました。

また7月4日金曜日には何年かぶりのイベントとして同窓会青森支部ゴルフ競技会を企画いたしました。

平日にもかかわらず7名の幹事が集まり8時36分スタートで始まりました。お昼過ぎから雨の予報もありましたのでスルーでラウンドし、怪我もなく無事に7名全員ホールアウト致しました。終わってお昼ご飯の最中には土砂降りの雨となっていました。

来年 令和8年は青森県支部同窓会の開催年となりますので仙台の同窓会本部との連絡を密にとっていきます。



山形パナソニック株式会社様・山形建設株式会社様・株式会社かわでん様・エヌ・デーソフトウェア株式会社様の順で企業紹介をさせていただきました。

開催後の紹介企業・父母会の反応はと言いますと、もちろん業界の人材確保が厳しくなっている紹介企業には大いに喜ばれ、父母会の方々も満足されていたと、同窓会本部からうかがっております。

同窓会山形県支部の会員を増やしていくという大きな目標のためにも、今後ともこのような後援会・同窓会連携企画を同窓会本部・後援会本部の御協力をいただきまして継続していきたいと思っておりますので、諸先輩の皆様、後輩の皆様、教職員、後援会、同窓会本部の皆様、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



関東圏支部

活気あふれる関東圏支部！ ～世代を超えた絆で未来を拓く～

東北工業大学同窓会関東支部事務局次長

有田 剛 (ありた つよし)

1991年 土木工学科卒

一昨年の11月に設立され、3年目を迎えた当支部は、役員会を月に1～2回という頻度で開催し、母校と仙台に思いを馳せつつ、首都圏での同窓生の絆を深めるべく活動を続けております。

昨年12月7日には、第2回となる支部総会・懇親会を開催し、58名の同窓生にご参加いただきました。当日は遠藤先輩(建築: '79年卒)による貴重なご講演もいただき、世代を超えた交流で大いに盛り上がりました。

当支部の目標は、『同窓会の繋がりが実社会で活かされること』『新社会人を含めた後輩たちのバックアップ』です。井出支部長(工業意匠: '72年卒)曰く、「同窓会を通じて仕事をした経験があるが、秋元会長がおっしゃるように、工大OBに悪い人はいないという信頼感が実感としてある。」と語ります。また、新社会人を含めた若手同窓生が不安なく活躍できるよう、常にフォローできる存在でありたいと考えています。また、良い繋がりと絆を構築・継続

職域支部「高原会」

高原会は、宮城県内の高校教員による交流を目的として、同窓生有志により発足した会です。平成28年、同窓会からのお声がけをきっかけに、職域支部として正式に加盟し、以降、同窓会活動にも積極的に参加してまいりました。一時期、約3年間の活動休止期間を経ましたが、昨年度より本格的に活動を再開しております。

令和6年度の活動としては、5月と9月に役員会を開催し、7月と11月には懇親会を実施しました。いずれも情報交換を中心に、会員同士の交流を深める有意義な機会となりました。

また、令和6年11月16日(土)14時から、八木山キャンパス9号館936教室にて、教職課程を履修している学生を対象とした「教職課程講習会」を開催しました。講師には、宮城県古川工業高等学校の笠原義樹教諭と、宮城県貞山高等学校の三浦智教頭をお迎えし、それぞれ「教員4年目として」「学校教育に必要な課題解決型学習」というテーマでご講話いただきました。

参加した学生からは、普通高校出身でも工業高校の教員としてやっていけるか。民間企業での経験がなくても専門教科の指導は可能か。「工業」の教員免許で、自分の専門外の教科も教えられるか。など、実践的な質問が寄せられ、会員が自身の経験をもとに丁寧に回答しました。

今年度も、12月6日(土)14時から、同様の講習会を八木山キャンパスで開催予定です。教職を志す学生の皆さんの積極的な参加をお待ちしております。

する支部として、今後さらに活性化させていきたいと考えています。

会員の中には、社会の未来を見据えた先進的な分野で万博に出展するなど活躍されています。その知見や経験を共有できるのも当支部の魅力です。こうした多様な人材との交流は、世代を超えて大きな刺激であり、同窓会の魅力と考えます。

さて、我々の最大の課題は、支部の未来を担う若手世代の参加をさらに促進することで、役員会後の懇親の場などに積極的に声掛けを行い、世代の垣根なく誰もが気軽に参加し、交流できる魅力的な組織づくりを目指しています。

本年も、12月6日に第3回総会・懇親会を開催します。懐かしい友との再会、新たな出会い、そしてビジネスに繋がるきっかけがここにはあります。多くの皆様のご参加を、役員一同、心よりお待ちしております。

※詳しくは同窓会ホームページ支部情報の『関東』関東圏支部をご覧ください。



近況としては、去る7月26日(土)に今年度の総会を開催しました。総合教育センターの中島夏子准教授を来賓としてお迎えし、本会の取り組みに対して貴重なご助言をいただきました。総会後には懇親会も開かれ、参加者同士の交流を深める充実した時間となりました。

今後は、若手会員との連携をさらに強化し、教育現場での知見を共有するとともに、次世代を担う人材の育成に貢献してまいります。引き続き、高原会の活動へのご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。(文責:事務局長 齋藤 一豊)



懇親会の様子

新会員からのあいさつ



令和6年度「教職課程講習会」の様子

福島県支部

「同窓会福島県支部設立総会」・「設立記念事業」・「記念パーティー」を下記により開催予定です。詳細につきましては、同窓会 HP などでご連絡いたします。関係者の皆様には是非ご出席いただきますようご案内申し上げます。

「同窓会福島県支部設立総会」・「設立記念事業」・「記念パーティー」の開催

日 時：令和 7 年 12 月 13 日（土）15:00 ～

場 所：郡山ビューホテル

（住所）郡山市中町 3 - 1 TEL：024-924-1111

<https://www.k-viewhotel.jp/>

内 容：

1 設立記念事業（案）

東北工業大学「東北 SDG s 研究実践拠点」福島県円卓会議 < 15:00 ～ 16:15 >

共催（予定）：東北工業大学、東北工業大学同窓会

後援（予定）：東北工業大学後援会

（1）開会 挨拶 東北工業大学 学長 渡邊 浩文 他 （5 分）

（2）教員による研究事例紹介（予定）

① 建築学部建築学科 教授 菊田 貴恒

② ライフデザイン学部 生活デザイン学科 准教授 伊藤 美由紀

（3）福島県円卓会議（情報交換会）

テーマ：「福島から工大に期待したいことー持続可能な東北をめざしてー」

・話題提供：大学の近況と「東北 SDG s 研究実践拠点」事業（10 分）

副学長・工学部長 石井敏

・円卓会議：（40 分）

同窓会福島県支部設立発起人（3 名）

青木 弘 様 （株）加地和組 代表取締役社長

市川 良一 様 （株）市川建設 代表取締役社長

高橋 章 様 （有）桂建築設計事務所 代表取締役

後援会福島支部会員（1 名）

ディスカッション・質疑応答

（4）閉会 挨拶

2 同窓会福島県支部設立総会 < 16:20 ～ 16:50 >

・挨拶、設立趣旨説明

・会則、役員、事業の承認 他

3 設立記念パーティー < 17:00 ～ 18:30 >

主 催：東北工業大学同窓会福島県支部、東北工業大学同窓会

参加費：3,000 円



福島県支部設立発起人会



工大杜の会（土木系学科同窓会）

《工大杜の会活動報告》

定例会議：令和 7 年 6 月 14 日（土）16 時より、新サテライトキャンパス地域連携センター『テクロビ』にて「令和 7 年度工大杜の会定例役員会」をオンライン併用にて開催し、「令和 6 年度活動報告・会計監査」、「令和 7 年度活動計画・予算案等」を採択しました。



第 18 回 工大杜の会の集い：



令和 6 年 10 月 26 日（土）仙台サンプラザにて 94 名（教員 9 名、学生 14 名含）の参加により開催されました。先生方からは大学の近況報告、卒業同窓生の業界の話題、そして在学生の自己紹介と希望職種の発表、また第 24 代應援団 OB の林君による演舞と集い参加者へのエール等、会場が垣根を超えた交流の場となり、笑顔が絶えない有意義な時間となりました。

また、春の叙勲で「瑞宝小綬章」を受章され、今回、集いに参加されました東北工業大学名誉教授であらせられる「神山 眞 先生」から貴重なお言葉を賜ると共に、これまでの先生の功績を讃えながら、参加者一同で叙勲受章をお祝いすることができました。



《令和 7 年度 第 19 回「工大杜の会の集い」開催のご案内》

今年も『工大杜の会の集い』を開催します。参加希望の方は大学同窓会 HP から工大杜の会 HP にアクセスし、「令和 7 年度 東北工業大学『工大杜の会の集い』案内」（右図）をご確認のうえお申込み下さい。

日 時：令和 7 年 11 月 15 日（土）17:00 ～ 19:00

会 場：仙台サンプラザ／会 費：6,000 円（当日会場にて）

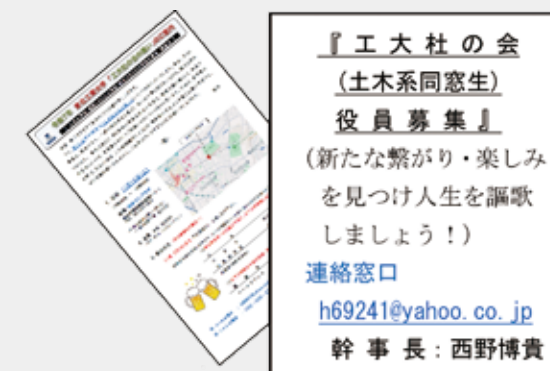
・メール申込先：h69241 @ yahoo.co.jp

西野博貴 宛（工大杜の会 幹事長）

・FAX 申込先：022 - 305-3715

齋藤圭司 宛（同副幹事長、工大技術支援センター）

※会則・活動情報については、東北工業大学同窓会学科 HP（杜の会）に掲載しておりますので是非ご覧ください。



尚建会（建築学科同窓会）

建築学科同窓会・尚建会の活動

浅野 英樹（あさの ひでき）
1988年 建築学科卒業

この度、この6月の尚建会総会にて承認され新会長に任命されました浅野と申します。野津前会長に続きまして尚建会活動の活性化に尽力いたしますので、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

さて、本年度の活動は昨年度に倣った活動とはなりますが、来年度の建築学科創設60周年に向けた取り組みも視野に入れて運営して行こうと考えております。

まずは通称“PPB（ピーピービー：Project of Presentation Books to Students）”と呼んでいます「建築を学び始めるあなたに贈る1冊の本プロジェクト」として、建築学科OB、OGのご協力により寄贈された本を7月2日に今年度の新入生全員へ手渡ししてきました。このプロジェクトは本年度で4回目となり、在籍する学生全員に行き渡ったこととなります。次年度に向けては12月あたりから本の募集活動を開始する予定ですが、本年度で卒業する学生からの寄贈も期待され、更に活性化できればと考えています。

本年度の3年生の授業では通称“プロ論”と呼ぶ「建築プロフェッショナル論」が計14回、開催され、OB、OGの計15名に講師として登壇していただきました。この授業内で講師以外に尚建会からとして数名のOB、OGが同席し、仕事としての建築、あるいは設計業務や施工管理、マンションリニューアルについてなど、学生が社会人と対話できるイントークコーナーを尚建会で運営してきました。

他には、東北工業大学学創立60周年記念ホームカミングデーとして「ありがとう5号館・さよなら5号館」を開催協力、船木学科長をお呼びしての尚建会サロンを開催、建築学科主催の「東北の建築を描く展」に尚建会賞を授与、東北を支える建設企業交流会を建築学科と共催、卒業生への尚建会大賞および尚建会賞の授与、ゴルフコンペの開催を行いました。

60周年に向けては、卒業生名簿の更新、全回生合同での記念パーティーの開催、新たなレクリエーションイベントの開催などを考えていますので、今年度以後のみなさまのご協力、ご参加を祈念、期待しております。

そして改めてのご報告となりますが、これまでPPB実行委員会委員長を務めておられた本学建築学科及び生活デザイン学科の非常勤講師であった由利収様ですが、今回の本の配布を目前にこの6月に急逝されました。この紙面お借りしてご冥福をお祈りいたします。

課外活動紹介

第40回北海道科学大学・東北工業大学総合定期戦

令和7年8月19日（火）～20日（水）の2日間、第40回北海道科学大学・東北工業大学総合定期戦が開催されました。

1986年から続く両校の伝統ある一戦は、今年が第40回という節目の記念大会で、12競技13種目が実施され、白熱した対決が繰り広げられました。

結果として、8対5で東北工業大学が総合優勝を果たし、21年ぶりに連覇となりました。伝統を引き継ぎ、今後も継続した定期戦を通じて交流が深まればと願っております。



選手宣誓



柔道



総合定期戦集合写真



男子バレーボール



女子バレーボール



男子バスケットボール

同窓会北海道支部との懇談会の開催

令和7年8月19日（火）に同窓会北海道支部懇談会が開催されました。恒例の北海道科学大学との総合定期戦に参加された渡邊浩文学長をはじめ、担当教職員の皆さま17名と北海道支部21名の参加がありました。帯広や函館から駆けつけた会員もあり、大学の近況や学生時代の思い出話を語り合う場として、大変賑やかな懇談会となりました。



北海道懇談会

課外活動紹介

第48回千葉工業大学硬式野球部定期戦

第48回定期戦は、8月16日（土）、本学長町キャンパス野球場にて開催されました。試合は、本学が2回に2つの四球と3本の安打を絡めて3点を先制しましたが、千葉工業大学に追いつかれ同点となりました。その後、8回2死から2本の長短打で勝ち越し、最終的に4対3で本学が勝利しました。試合後には懇親会も行われ、両大学の選手たちは交流を深めました。

期 日：令和7年8月16日（土）

場 所：東北工業大学長町キャンパス野球場

結 果：東北工業大学 4対3 千葉工業大学



ありがとう！「5号館」



解体工事が進む「5号館」

データで見る 東北工業大学

VOL.05 2025年6月

Overview of Educational Outcomes Based on the AEGG Policies at Tohoku Institute of Technology

●「データで見る東北工業大学」公式ゆるキャラ3兄弟

ヤキロくん デタロちゃん みるまるくん

創立 61年
Since 1964

在籍者数 (男女比)
80% 男性 **20%** 女性
3,261名

東北出身者 96%

185名 156名 305名
243名 2,049名
他県 131名 192名

3学部
4課程・4学科
2キャンパス

専任教員数
114名

10年連続定員充足
入学定員充足率
106%

工学部

工学部建築学科の卒業生数は建築学部に含まれる

設置年数 61年
在籍者数 **1,502名**
93% 男性 7% 女性
卒業生数 **28,410名**

建築学部

工学部建築学科の卒業生数は建築学部に含まれる

設置年数 5年
在籍者数 **626名**
74% 男性 26% 女性
卒業生数 **8,815名**

ライフデザイン学部

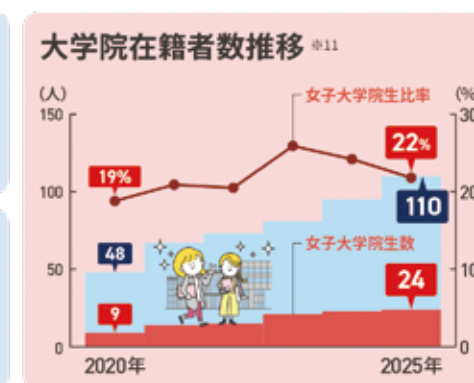
設置年数 17年
在籍者数 **1,133名**
66% 男性 34% 女性
卒業生数 **2,923名**

卒業生数 **8,522名**
就職率 **100%**
満足度 **93%**

卒業生数 **8,815名**
就職率 **98%**
満足度 **98%**

卒業生数 **959名**
就職率 **97%**
満足度 **89%**

情報通信工学課程
卒業生数 **7,259名**
就職率 **97%**
満足度 **93%**



生活デザイン学科
卒業生数 **986名**
就職率 **100%**
満足度 **92%**

都市工学課程
卒業生数 **7,263名**
就職率 **100%**
満足度 **95%**

経営デザイン学科
卒業生数 **978名**
就職率 **99%**
満足度 **94%**

環境応用化学課程
卒業生数 **1,476名**
就職率 **98%**
満足度 **97%**

これまでの総入学者数
49,044名

これまでの総卒業生数
40,148名

卒業率 **88%**

※ 2025年5月1日時点のデータを用いています。

第50回工大祭『五十彩』^{パレット} 10月11日(土)～10月12日(日)

第50回工大祭のテーマは『五十彩』^{ぱれっと}です。
工大祭が第50回という記念すべき節目の年にあたるため、「大学祭に関わる人達の個性、思いが花開くようになって欲しい、大学祭が彩り盛り上がってほしい」という思いを込めました。「ぱれっと」と読み替える理由は、これまでの50年を彩ってきた沢山の人の想いと、いまこの瞬間を生きる学生たちの多様な個性、そして未来へと続く希望の色を表しています。

10月11日(土)には「宮城のおーちゃん」「Cha'R(チャール)」「LIiEN(リアン)」によるステージパフォーマンスや、「夜光彩」と題し、豪華景品が当たる「夢ビンゴ大会」や「記念花火*」を企画。

10月12日(日)には、「ヤングスキニー」によるコンサートなど、たくさんの企画を用意しておりますので、ぜひお越しください！！

詳細については、第50回工大祭 Web サイトにてお知らせいたします。

*記念花火：雨天決行(強風の場合は中止)
※企画の内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。



第50回工大祭ロゴ

サテライトキャンパス「テクロビ」

昨年12月末に閉館した「一番町ロビー」に替わり、本学の新しいサテライトキャンパスとして2025年4月から、アーバンネット仙台中央ビル5Fに地域連携センター「テクロビ」を開設しました。

仙台市が推進するせんだい都心再構築プロジェクトの第一号物件として、同ビルにはコワーキングスペース「YUINOS(ゆいのす)」やシェアオフィス、イノベーションスペースなど多機能な交流空間が備わっており、今後は仙台市中心部の好立地環境を活かした教職員や学生の研究成果発表、地域との交流、広報の場として活用していきます。さらに、自治体や企業との連携事業の推進拠点として、本学の研究成果の事業化や共同研究への進展、さまざまな知見を活かした施策の提案も行います。

地域社会における新しいものづくり、ことづくり、まちづくり、ひとづくり等に一層貢献できるよう努めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



開館時間：10:00～17:00

休館日：土・日曜日、祝日、大学休業日(夏季休暇・年末年始等)

用途／ギャラリー、講義室 等

主な活用／各種講座事業、大学成果展示、リカレント教育の拠点、自治体や企業・学術機関との連携事業の拠点、地域との交流の場、研究成果発表の場など

※催事や展示などのスケジュールは、東北工業大学のホームページやテクロビ X(旧:Twitter)、テクロビインスタグラムなどでお知らせしております。



同窓会からのお知らせ

東北工業大学同窓会 第41回定時総会について

開催日：令和7年10月11日(土)

今年度の同窓会定時総会は下記により開催いたします。当日は同窓会総会の他、工大祭及び懇親会、ホームカミングデイなどの行事や同窓会設立40周年を記念し特別イベントとして「夢ビンゴ大会」などを開催いたします。皆さまのご出席をお待ちしております。よろしくお願い申し上げます。

当日のスケジュール

- 10:00～ 第50回工大祭『五十彩(ぱれっと)』
- 13:00～14:15 **ホームカミングデイ(会場：八木山キャンパス1号館2階)**
・学長挨拶/同窓会長挨拶 ・大学の近況報告 ・同窓生とのディスカッション
- 14:30～15:00 **同窓会総会(会場：八木山キャンパス1号館2階)**
・令和6年度会務・事業報告・決算報告・監査報告
・令和7年度事業計画(案)・予算(案)について
・役員改選
- 16:00～18:00 **夜光祭(酒類提供含む)**
16:00～16:30 **同窓会設立40周年特別企画**



①夢ビンゴ大会

場所：八木山キャンパス中庭ステージ 対象者：来場者全員

内容：同窓会各支部(東北6県、北海道、新潟県、関東)より、各地域の名産品等を景品として協賛していただきビンゴ大会を実施

②同窓会より表彰・感謝状の授与

18:00～18:30 記念花火 ※雨天決行、強風の場合は中止(18時打ち上げ予定)

- 17:30～19:00 **懇親会(会場：ホテルメトロポリタン仙台)**

申込が必要です。10月6日(月)までに、ご連絡ください。

会費：3,000円(当日会場でお願いいたします)

東北工業大学同窓会事務局 mail: dousoukai@tohtech.ac.jp

FAX: 022-305-3337



新たなネットワークをめざして

東北工業大学 同窓会

事務局 東北工業大学キャリアサポート課内

〒982-8577 仙台市太白区八木山香澄町35-1

TEL.022-305-3336 / FAX.022-305-3337

同窓会Webサイト

<https://koudai-dousoukai.net/>

